

We Are 2013

卒業・進級制作展

2013年2月、滋慶学園COMグループ全校でWe Are 2013 卒業・進級制作展が開催されました。進級を控えた学生にとつては1年間の成果を、また卒業を目前にした学生にとつては、在学中、学んできたことの集大成を業界はじめ多くの方々にプレゼンテーションする機会となりました。学生一人ひとりの大きな成長を見ることができた卒業・進級制作展でした。



JESC
奨励賞
受賞



卒業制作で取り組んだ「フットリングマシンの提案」がJESC奨励賞作品候補に選ばれた時は、とても嬉しくプレゼンテーションにも力が入りました。ストーリーゲームシとは、フットリングマシンのガットを張る為のマシンで、自分がハットミントクラブに通っていた時に、ガットが壊れるたびに職人に頼んでいたので、自分でメンテナンスをしたいと思っていました。OCAで卒業制作作品として形に



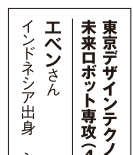
卒業制作で取り組んだ「フットリングマシンの提案」がJESC奨励賞作品候補に選ばれた時は、とても嬉しくプレゼンテーションにも力が入りました。

大阪コミュニケーション専門学校
プロダクトデザイン専攻3年生
李(リ)さん 台湾出身 関西外国語専門学校出身

「新しいストリング
マシンの提案」
夢が形になる感動を実感

「JESC奨励賞」とは
1年間のプロジェクトや活動を通じ、独創性が高く将来の活躍が期待される研究ならび制作に対し、各校の卒業進級制作展から選考され、滋慶教育科学所(JESC)より奨励賞が授与されます。

こともあり、2週間というタイトなスケジュールの中、取り組みました。企業様からは、展示物としてはなく、もっとリアルなものにして欲しいという課題を頂きました。「一番難しかったことは、商品の再設計のため、本来のデザインを崩さず、どうやらよりリアルな動きを再現できるかというところがポイントでした。音や動きを加え、よりリアルさを追及したものにす



有限会社MaxFactor
IorVプロジェクト「偵察機クレディタープロジェクト」に参加させて頂きました。

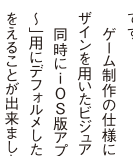
東京デザインテクノロジーセンター専門学校
未来ロボト専攻(4年生)
エベンさん
インドネシア出身 システム桐葉外語出身

「偵察機クレディタープロジェクト」参加
「限会社MaxFactor様主催」
することが出来、とても感謝しています。このストーリーゲームマシンのコンセプトは、プロでなくてもテニスのガットが張れ、素人でも何回でもうまくなれるように設計されている。初心者・中級社向けです。審査員から「どこが面白いのか、難しいか」という質問にコメントは言葉です。その言葉を形にすることが難しかったです。」と答え、会場の学生さんたちから「かっこいい」という言葉が漏れていました。プレゼンテーションもさることながら、審査員からの質問にも堂々と応えている姿は、留学生達にも刺激を与え、作品だけでなく、プレゼンテーションの重要性をしっかりと伝えてきました。

ゲーム制作の仕様に沿う形で、武器防具のデザインを行い、そのデザインを用いたデジタルイラストを作成しました。同時に「iOS版アプリ「クエスティアQuest of Planet」用にデジタルイラストも制作し、企業様からも好評をえることが出来ました。

今回「優秀賞」を見事受賞したのはゲームグラフィック&キャラクター専攻3年の潘(ハン)さんです。

ゲーム制作の仕様に沿う形で、武器防具のデザインを行い、そのデザインを用いたデジタルイラストを作成しました。同時に「iOS版アプリ「クエスティアQuest of Planet」用にデジタルイラストも制作し、企業様からも好評をえることが出来ました。



今回頂いた課題の内容はアーケードゲーム「エンディング・フォース」クロスエディションを題材にしたキャラクターデザイン。このゲームはプレイヤーの分身となるキャラクターが、様々な装備で見た目をカスタマイズができるネットワークアクションRPGです。



今回頂いた課題の内容はアーケードゲーム「エンディング・フォース」クロスエディションを題材にしたキャラクターデザイン。このゲームはプレイヤーの分身となるキャラクターが、様々な装備で見た目をカスタマイズができるネットワークアクションRPGです。

東京コミュニケーション専門学校
ゲームグラフィック&キャラクター専攻(3年生)
潘(ハン)さん 中国出身 玉川国際学院出身

株式会社セガが手掛ける有名ゲームの
キャラクターデザインに挑戦

このプロジェクトは自分を高め3名で参加しました。担当する各専門の部分を責任もって行い、チームがひとつになったからこそひとつの作品が出来たと思っています。



るために、エンジンを調べ、ガットリングの光にもこだわりました。エンジンひとつ、光ひとつ妥協せずこだわって作りました。その成果があつて、2月10日(日)に開催されたプラモデルフェアの最大イベントであるワンダーフェスティバルにて、社長様にステージ上で直接制作物をご紹介いただき、学校名と共に私達の取り組みを多くの方々にお話しいただいた喜びは忘れられません。企業プロジェクトに参加することにより、貴重な経験として大きな自信を得ることが出来たと思います。このような機会を与えて下さった企業様そして学校に大変感謝しています。

P.1~3
・We Are 2013 卒業・進級制作展
JESC奨励賞研究発表

P.4
・業界研修
・海外実学研修
・滋慶学園グループ
スピーチコンテスト開催

P.5
・留学生授業レポート
「音楽特別講義」
「和食スペシャリストによる特別講義」
・滋慶国際交流COMレポート
「日本語教室 N1合格者発表」
「滋慶COM短期プログラムに韓国啓明文化大学が参加」

P.6
・企業プロジェクト
・スポーツ大会
・活躍中の留学生レポート
・卒業式

P.7
・内定速報

滋慶学園
COM
T留学生
ODAY
CAMPUS REPORT

VOL.4
INDEX

JESC (滋慶教育科学所) 奨励賞研究発表

グループ株式会社様主催 「YouTubeリワードプロジェクト」でリワード賞受賞

東京デザインテクノロジーセンター専門学校
WEBクリエイター専攻(1年生)



朴(パク)さん 韓国出身 東京ワイルド外語学院出身

今回はプロジェクトはグループ株式会社様が展開するYouTubeを用いた、クリエイター動画制作です。グループ校600名が参加の中、見事リワード賞(最優秀賞)を受賞することができました。私は今回初めて企業プロジェクトに参加しました。企業様からの課題は自由テーマで3つの動画を制作することでした。

まずはどのようテーマが良いかと考えました。そして留学生の視点から「東京の街」を見せたいと思い、自転車目線から見る東京の街の映像を制作することに決めました。テーマが決まり映像制作する言っても、撮影、編集全て初めてのことで、しかも一人でこなさなければなりません。撮影をする際も三脚を立てて写真を撮り編集も勉強しながら少しずつ行いました。何もかも初めてのことで、戸惑いもあり苦戦しましたが、次第に形になっていく作品を見ながら、やりがいを感じ楽しんでいってまいりました。

自転車目線から見ると東京をテンポよくミュージックビデオのように仕上げていきました。今回のプロジェクトを通じ、映像編集に興味を持つことができ、技術だけではなく沢山のことを学びました。この経験を活かし、一人の共有ができる映像を作りたい!!と強く思うようになり、今後はプロのWEBクリエイターを目指し、ソーシャルメディアについても学び頑張っていきたいと思っております。

今回リワード賞という素晴らしい賞を頂くことができたのも、TECH.Cに入學しているも学生の頑張りを認めてくれたサポート下さる先生方に出会えたからだと思います。企業プロジェクトは、学生みんなにチャンスを与えてくれるもので、後輩の皆さんにも是非積極的に参加して頂きたいと思っております。

全日本空輸株式会社(ANA) 定時運行促進のためのポスター制作に挑戦

東京コミュニケーションアート専門学校
グラフィックデザイン専攻(2年生)



ANAさん 中国出身 日本航空高校出身

今回の課題は「定時運行促進のためのキャンペーンポスター制作」です。

ANAグループは2002年に「On-time Airline ANA」を宣言しました。2009年より「到着のその先へ」を合言葉に定時性促進活動に取り組んだ結果、On-time Airline Technology社現在のFlight Statisticsが世界の航空会社を対象に実施した定時到着率の調査で、2011年定時到着率世界1位の認定を受けました。引き続き、お客様大切な時間を守るため、ANAグループでは定時運行促進がスターの制作を計画。姉妹校の学生達が社内用、社外用2種類のポスターの制作に協力することになりました。昨年9月中旬にオリエンテーションでキタオフレ、12月中旬には中間審査、30名が選出されました。その中の1名がタイからやってきたパラさんです。今回の作品はANAの定時運行にご協力くださいというテーマで作品を制作モチーフにしたのは「定時」。

飛行機に乗る人たちがそれぞれの大切な人と約束をしながらそれぞれの目的地に向かっていきます。時間を守るの大切な人との約束を守ることでも「定時」コンセプトで作りしました。今回の制作では日本語でコピーを考えたりしなければならず大変でしたが、とても勉強になりました。と笑顔で語ってくれました。

Yahoo!Japanのショッピング、オークションに誘導するスマホアプリの制作

東京デザインテクノロジーセンター専門学校
サーバー専攻(3年生)



王(オウ)さん 中国出身 東洋言語学院出身

今回のプロジェクトは、Yahoo!Japanのショッピング、オークションに誘導するスマホアプリの制作です。企業様からの課題は、アクセス数を増やしたい、「お客様に役に立つアプリを作ってください」ということです。

そこで、PCだけでなく、スマホ所有者もYahoo!ショッピングやYahoo!オークションを楽しむようアプリの企画開発を担当しました。具体的に言うと、「計画的にお買い物に決める」学生や若年層をターゲットにすることにしました。具体的に言うと、事前に買いたい日付を登録しておき、買いたい物の日が近づくと、アラートが出てきて、買いたいものを忘れないようにするというアプリです。これは、計画的な買物をする上で、大変優れたアプリです。今回の企業プロジェクトを通して学んだことは、技術的なことでは、Javaの応用です。授業では勉強していましたが、応用は実践での大変でしたが、とても勉強になりました。また、コミュニケーションの大切さを改めて感じました。企業様からAPIを頂く際にも大変苦労しました。やはり、礼儀や言葉遣いは企業様との信頼感にも繋がりとても重要なものだと思います。コミュニケーションが上手にできれば、仕事もスムーズに運ぶことができます。身をもって体験しました。これは企業様に限ったことではなく、学生同士でも同様です。コミュニケーションを上手にすることで、チームワークも生まれ、効率よく作業を進めていくことができるのです。このような経験を活かし、今後お客様に役立つアプリの開発に取り組みたいと思っております。

一般社団法人Amazing Hug 障がい者施設コラボ商品企画提案

福岡デザインコミュニケーション専門学校
インテリアデザイン専攻(3年生)



レニコバさん ロシア出身 愛和外語学院出身

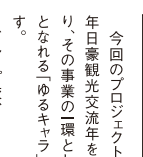
今回の福岡県博多区に拠点を置き、障がい者施設の支援活動を行っている一般社団法人Amazing Hug様より、障がい者の自立支援につながる、商品企画を依頼されました。施設の作業所で作られる「売れる商品」を提案した留学生の名に、作品についてお話を聞きました。

myspaceは簡単に作れるもので、小さいもの考えた時に、子供っぽい浮かび子供用の机と椅子に決めました。軽い素材でデザインは明るく子供が好きなものとして、男の子は消防車、女の子は家の柄で作りました。収納スペースなどの機能性も考えながら制作しました。

シンプルな作業で制作でき、使う人の組み合わせによって形、大きさが変わるものが良いなと思いASOBSUVEREを作り出した制作では、パーツにカラフルな色を塗る作業が特に楽しかったです。好きな色を組み合わせて自分だけのASOBSUVEREを見つけたいです。

OKGIFFSHOP 主催 「ゆるキャラプロジェクト」で銀賞受賞

東京デザインテクノロジーセンター専門学校
コミックイラスト専攻(1年生)



倉(セン)さん 台湾出身 清華大学出身

今回のプロジェクトは、2013年日豪観光交流年を迎えるにあたり、その事業の一環として親善大使となれる「ゆるキャラ」のデザインです。

グループ校、182作品の中から見事、銀賞を受賞することができました。

日本人観光客をターゲットとした愛されるキャラクターを作るため、私はカモノハシをモチーフに、「オースカモリア」とネーミングしたキャラクターを作ることにしました。

製作期間の4か月、休日はアイデアを探るために色々な場所に出掛けました。中でもアイズニーストアはアイデアの宝庫で大変勉強になりました。今回一番難しかったことは、商品の形について写真とイラストを合成する作業でした。今まで、このような作業をしたことがなかったの、試行錯誤しながら納得いくまで何度もチャレンジしました。そして、お客様に「欲しい!!」と思って頂ける商品を作るため、デザインが出来上がるたび、先生や友達に見てもらいアドバイス頂くようにしていました。自分が良いと思っても、お客様がどう思われるか大切にしたいからです。企業様に納得頂く商品作りをすることは大変でしたがとても楽しかったです。最終審査を迎えるまで、何十種類の商品デザインを作り、作品全てに愛情を注ぎ、ベストを尽くしたので、完成した作品を目の前にした時は心が嬉しかったです。今回のプロジェクトを通じ、改めてキャラクター作りの面白さ、難しさを知りました。今後の夢は、お客様に愛される可愛いゆるキャラを作り、多くの人に喜んで頂けるデザイナーになりたいと思っております。



クラスメイトがモデルになりました



呉さんの作品

レニコバさんの作品

We Are 2013 卒業・進級制作展

JESC 奨励賞 作品

今回「ミュージシャンサポートプログラム」に参加した3名の留学生から感想を頂きました。

ミュージシャンサポートプログラム (ミュージアムコーディングプロジェクト) 参加

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷 シンガポールブライタールコース2年生

全(ジヨン)さん 韓国出身 東亜高等学校出身 (写真右)

学校で色々な知識や経験を得るために様々なイベントやライブに参加しながら練習を重ねた結果以前参加していた企業プロジェクトをきっかけにJESC奨励賞作品として参加する事になりました。卒業制作と同時に動いているプロジェクトでもあった為練習よりハラスルがとても大変でした。パフォーマンスの様々なコースの学生さんの作品のためスケジュール調整も大変でした。取られた時間の中でもハードルと練習を頑張る事で、チームワークも良くなり、お互いを信じあつた事で頑張る事が出来ました。このJESC奨励賞を通じてアロになるための大きな一歩を踏み出したと思います。



学校で色々な知識や経験を得るために様々なイベントやライブに参加しながら練習を重ねた結果以前参加していた企業プロジェクトをきっかけにJESC奨励賞作品として参加する事になりました。卒業制作と同時に動いているプロジェクトでもあった為練習よりハラスルがとても大変でした。パフォーマンスの様々なコースの学生さんの作品のためスケジュール調整も大変でした。取られた時間の中でもハードルと練習を頑張る事で、チームワークも良くなり、お互いを信じあつた事で頑張る事が出来ました。このJESC奨励賞を通じてアロになるための大きな一歩を踏み出したと思います。

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷 キーボードインストラクターコース2年生

金キムさん 韓国出身 ダイナミックビジネスカレッジ出身 (写真中央)

「Toshi Nagai」氏のソロライブプロジェクトの現場見学がきっかけでした。本番まで限られた時間で練習することが難しく、練習時間が短く集中して練習し望むことにより技術だけでなくチームワークも上がることが感じました。急遽キーボードを弾くことになり緊張しましたが、みんなのチームワークを發揮して練習の成果をしっかりと発表できたと思います。このような大きなステージでのパフォーマンスを通して、たくさんの人に伝えることの大変さや喜びを改めて感じました。これからもアーティストとして自分の思いをたくさんの人に伝えるように頑張っていきたいと思います。

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷 シンガポールブライタールコース1年生

蘇(ソウ)さん 中国出身 新橋日本語学校出身 (写真左)

去年11月に参加した、企業プロジェクトに参加したことがきっかけです。自分が参加したプロジェクトがJESC奨励賞の作品候補に選ばれたことが嬉しかったです。プロジェクトを通して、日本でも有名で「Toshi Nagai」さんをはじめ、綺麗な歌手「Miyu」さんやバンド「Coras」のアサンブルについて大切な技術や知識を学ぶことが出来ました。We areに向けての練習は、時間があまりない中で練習はすごく大変でしたが、充実した楽しい時間を過ごせました。公演当日は、公衆電話の練習は、渋谷AXのような大きなステージに立つのは初めてでも不安でしたが、仲間と励ましあいパフォーマンスを頑張りました。最初は緊張と不安がありましたが、パフォーマンスを終えた後は楽しかった気持ちと充実感でいっぱいでした。今回のプロジェクトを通して、貴重な「アロ」の経験を積むことが出来ました。

JESC 奨励賞 作品

映画「ソロダンス」手話ダンスへの取り組みと、企画の問題点への克服について考察

大阪スクールオブミュージック専門学校 映画監督コース(3年生)

張(チヨウ)さん 台湾出身 大阪YMCA学院出身



金子修介監督の「ソロ」/ガメラの映画監督の2012年の映画「百年の時計」にもスタッフとして参加した張さんが卒業制作として3年間の集大成で取り組んだ意欲作です。内容はプロダンサーを自指している主人公が挫折を味わいながらも耳の聞こえない少女と出会い手話ダンスというジャンルに触れます。その素晴らしい踊る事の喜びを感じるのも束の間、少女の耳は完全に聞こえなくなる...この映画の企画段階でダンスをテーマにした映画を撮影する運びとなり、様々なジャンルのダンスを調べたところ、手話ダンスというジャンルに魅力「聞こえない人には踊る楽しさ」聞こえる人には手話の大切さ」という考えに感動を受け今回の作品を作ったこと。コセツは、張さん自身、台湾の大学で、教育の勉強をし、就職してしまいが、映画への気持を諦めきれずOSMへ入学した「夢を諦めない」という彼自身の気持ちが込められています。また、様々な映画案の出品も考えられているので、その第段階として、JESC奨励賞の候補にあがったことでも喜んでいました。

「DANCE? DANCE! DANCE!! & DANCE INTERNATIONAL」 DANCE ONOMEによるダンスショーケース(出演)舞台に立つ感動を体験!

WE ARE OSM DANCE? DANCE! DANCE!! & DANCE INTERNATIONALに参加した2名の留学生から感想を頂きました。

大阪ダンス&アクターズ専門学校 ダンスプロフェッショナルコース(2年生)

鄭(ジョン)さん 韓国出身 メリック日本語学校出身 (写真左)

私は、韓国ダンスストーリーをしていましたが、自分のダンスオを持ちたいという夢のために留学を決めました。OSMの学校見学をした時に、多様なダンススタイルをしっかりと学ぶ事ができるシステムと学費を安くして、来年の入学準備を済ませて入学し、入学して2年が経過するという間に、昨年のWE AREで、うまく出来るか心配でしたが、今年もついにうまく出来たと思えて、準備期間中も腕やももひざの筋肉離れなど怪我に悩まされながらも、制作も諦めたくありませんでした。舞台に立つ時、自分の名前を呼んでくれる人や、一緒に頑張ってきた仲間がいたので、とても楽しく頑張りました。WE AREの為に頑張った仲間をサポートしてくれた先生、スタッフ、本場に有り難うございました。と語る鄭さんは、卒業後、日本でダンススタジオを作る予定だそうです。



大阪ダンス&アクターズ専門学校 ダンス&ヴォーカルコース1年生

金(キン)さん 中国出身 国際語学院出身 (写真右)

私は、15歳の頃ダンスと出会い、中国でもダンスコンテストなどに出場したりと活動していました。日本でも本格的なダンスとヴォーカルの勉強がしたいと思い、OSMの入学を決めました。今回、初めてのWE AREでは、センタホジションを取る作品もあって、毎日一生懸命練習に励みましたが、先輩達が頑張っているのを見て、この学校の時間を大切にしたいと思いました。強く思いました。WE AREを通して、たくさんの事を学びたいと、とても長経験となりました。

人の役に立ち、やりがいのある裏方の仕事が大好き

大阪スクールオブミュージック専門学校 コンサート企画コース(1年生)

エリザベットさん フランス出身 バリ第七大学出身



音楽業界について何の知識もなかった自分がほとんど経験を集めて成長してきたという思いは、We are OSM! We are OSM! DA!に参加のおかげです。「明日の扉」に続き、We are OSM! DA!にも出演者管理チームに入らせていただきました。出演者管理チームは出演者、又はスタッフのケアをするチームです。事前に楽屋の使い方や、出演者の名前、出演者の名前、本番に向けて色々な作業を行います。今回は会場での出演者が少なく、出演者が非常に多かったため、楽屋割を決めるのは特に難しかったです。私は本番の三日間を通して「袖付き」といふポジションについていきました。袖付きというのはその名の通り、開演中にステージの上で下手下手袖につくって他のメンバーのステージの進行状況を楽屋にいるメンバーに教え、出演者を袖まわって誘導するタイミングを決めます。袖には2つのホルスターのホルスターも置いてあり、かなり狭い空間なので、状況をうまく分析し、的確に出演者を叫びタイミングを決めるのは袖付きの一番大変なところで、We areでは袖付きをやるとの初めに、本番の緊張感もわかるように、その緊張感もわかるように、袖付きの初めに、本番の様子も見る事ができ、とても楽しかったです。何ヶ月も練習してきたステージの涙を見た時、We are OSM!のメンバーでステージに立った15名の出演者の歌を聴いたり、スタッフでありながらも大変感動しました。そして何より、素敵な人達とチームを組んでいっしょに心に残るイベントを迎えることができました。出演者管理は裏方の仕事でも、とても地球に見えるかもしれませんが、人の役に立ち、やりがいのある仕事だと思います。We areで自分だけが出演者管理の仕事が大好きで、感謝しています。

「動物介護オリジナルサポートグッズ制作」発表 「どこでもお風呂」

大阪コミュニケーションサポート専門学校 動物看護福祉専攻(2年生)

WONG(ウォン)さん マレーシア出身 帝京マレーシア日本語学院出身



ウォンさんは、病気を抱えている飼い主さんのサポートグッズ「動物介護オリジナルサポートグッズ制作」の研究発表で、「どこでもお風呂」を提案。当初、マレーシアで、介護のいる犬を飼っているときに、タオルやペーパーがすぐに濡れるのとマレーシアの住環境の違うため、当初「掃除機」を考えていましたが、日本と違って、住環境が違うというクラスメイトからの助言を聞き、変更しました。最初は薄く失敗し、型崩れしない厚さを考え、すべて手作り、防水性があり、 dayanarai(耐久性)のいいもので、組み立てが簡単で、乾かせる物と、こだわりのある作品となりました。簡単に覚えて、野外で活動していた、出来上がった時は、嬉しかったです。たまたまお話ししてくれたウォンさんの夢は、マレーシアの環境は、日本と違い、まだまだ動物福祉の面で遅れているので、しっかりとOCAで勉強して、マレーシアに帰ります。動物病院で働けながら、動物福祉に貢献したいと、熱く語ってくれました。

2年間学んだお菓子の集大成

福岡キャリナリー製菓調理専門学校 バティエコース(2年生)

菅(カン)さん 中国出身 別府大学日本語課程出身



私は2年間学んだお菓子の技術を全て盛り込んだクロカンパッシュを作りました。クロカンパッシュはフランスの結婚式によく使われるシュクリムとキャラメルを使ってできた祝いのお菓子です。テーマは「愛に注がれた結婚」です。シュエと土台をしっかりと作り、その上を大きなハートやリボンを飾り付けました。私のこだわりは、真白な生花を散らしたことです。純白な新婦さん表現するには、生花はかない、短い最後の仕上げで飾りました。約3週間かけて作り上げた私のお菓子の集大成です!



菅さんが作りあげたクロカンパッシュ!

業界研修

2週間の研修で成長することができました

東京アニメ声優専門学校 アニメプロデューサー専攻(1年生)

李(リ)さん 中国出身 アークアカデミー大阪校出身



東京アニメ声優専門学校の講師が代表をされている和風アニメーションという会社で、夏休みに2週間の研修に参加しました。

実際の現場の仕事は初めてなので、最初は難しいと思っていましたが、自分でも出来る事が増えてきて、だんだんと楽しくなってきました。

当たり前ですが、TVで放送されるアニメーションなので、チェックは厳しかったですが、何度も書き直しました。最初は大変だと思いましたが、ここでプロ意識が身についたと思います。また、自分が制作に関わったアニメーションがテレビで実際に動いた映像を見たときは感動しました。とても良い経験になったと思います。



憧れのスターと夢の共演

東京ダンス&アクターズ専門学校 バックダンサーコース(1年生)

金(キム)さん 韓国出身 東京キヤラクシ日本語学校出身



今までいくつかあったバックダンサープロジェクトの中でも、以前から憧れていたリノシウワンのバックダンサー募集の告知があったのでオーディションに参加し、見事合格し参加することになりました。

実際のところ、学園祭以外の大きなステージは初めてで、とても緊張しました。練習で大変だったところは、フォーメーションやナンバー決めなどが大変でしたが、振付の先生が優しく丁寧に教えてくれたので練習も楽しく、どんな力が付いていきました。

本番のステージでは、最初は緊張をして周りを気にする余裕はありませんでしたが、2日目は少し緊張もとれました。そのおかげでステージからたくさんのお客さんの様子を見ることができ、どのお客さんも笑顔で楽しんでいました。ステージから見るお客さんの笑顔が自分もパフォーマンスを精一杯頑張ろうと思えました。今回の貴重な経験を、今後は自分のパフォーマンスでも多くの人を笑顔に出来るようなアーティストを目指して頑張っていこうと思います。



海外実学研修

演技の殿堂ステラ・アドラー・アカデミーのステージで主役として公演

東京フィルムセンター映画俳優専門学校 俳優女優専攻(1年生)

マリーさん ドイツ出身 日出高校出身



私は昨年の秋に海外研修で、ステラ・アドラー・アカデミーで舞台公演をしました。ステラ・アドラー・アカデミーとは、アルパチノ、ロバート・デ・ニロなど、世界の名俳優が学んだ演技学校です。今回初めて舞台の主役として参加させてもらいました。1ヶ月前くらいから俳優科のメソッドで練習をし、舞台にいらした。先生の演出が素晴らしいし、とても良い舞台ができたと思います。一生懸命練習をして、たので、熱が出しまし大変な時期もありましたが、俳優科のメソッドが「本」だから、マリーなら出来るから」と、励ましてくれました。友達の支えのおかげで、舞台は大成功に終わったと思います。



キャスト大集合
本場でアクションを学ぶ

滋慶学園グループ スピーチコンテスト開催

滋慶学園グループ 第三回英語スピーチコンテスト入賞

12月11日(火)、滋慶学園グループ第三回英語スピーチコンテストの表彰式が開催されました。本スピーチコンテストは、将来スペシャリストとして、国際的に活躍したい学生の英語による発信力を競う機会を作り、もってグローバル人材養成を促進することを目的としています。今回見事入賞されました。留学生のお一人にコンテストに参加した感想を頂きました。

福岡キャリナリー製菓調理専門学校 バティシエコース(1年生)

邵(シヨウ)さん 中国出身 九州外国語学院出身



私は福岡キャリナリーの代表として滋慶学園グループ英語スピーチコンテストに挑戦しました。今回のテーマは、キャリアについてでした。まず始めに自分自身の紹介をして、なぜ福岡キャリナリーで菓子の勉強をしようと思ったか、そして将来の夢についてお話ししました。大学を卒業した私は叶えたい夢もなく、ただオナーに言われて仕事をこなす毎日疑問を感じていました。「もっと充実した毎日を送りたい」と本のお菓子に出会いました。アジア人の口合(口)日本のお菓子を中国に広めたい。私の作ったお菓子をみんなに笑顔にしたい。夢が広がったので、日本に来て福岡キャリナリーで毎日授業を受けています。失敗することも多いけれど、夢に向かっ頑張っているのが充実した学校生活を送っています。英語は中国でも少し勉強して、夢に向かって頑張りたいので、このコンテストに参加出来る私の将来を聞く」という決意表明と改めて英語を勉強することも良い機会になりました。

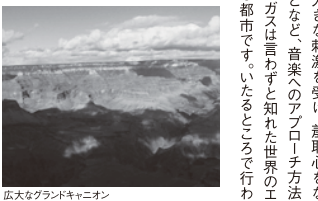
音楽へのアプローチ方法が変わった海外研修

東京スクールオブミュージック専門学校ギターテクニクコース(1年生)

ジャンポールさん フリピン出身



アメリカのロスアンゼルスで音楽の海外実学研修に参加しました。ロスアンゼルスでは提携校シトラスカレッジにてレッスンを受けました。シトラスカレッジは伝統のある大学として有名で、全米とも言われるブルノット・ストウイング・オーケストラが在籍し、万人を超える学生が学んでいます。そこでプロミュージシャンの先生方からテクニックを教わり、実際にライブセッションをしたらしました。セッションした仲間や先生から大きな刺激を受け、羞恥心をなくすこと、自己主張することなど、音楽へのアプローチ方法が変わりました。また、ロスアンゼルスは言わずと知れた世界のエンターテイメントが集結する都市です。いろいろなところで行われているショーを目の当たりにし、有名なミュージカルの舞台裏にも潜入しました。圧倒的なエンターテイメントに魅了されました。



広大なグラウンドキャンパス
セッションの実践練習

東京アニメ声優専門学校 アニメ監督専攻(1年生)

エルデネさん モンゴル出身 専門学校インターナショナルスクールオブビジネス出身



スピーチコンテストの本番は各学校の偉い先生方がたくさんいらっしゃっていたのでとても緊張しました。間違えたらどうしようと思いましたが、実際に本番前になったとき、緊張せず話せるようになりました。自分が思ったことを落ち着いて発表ができたと思います。今回準備をした5週間、2月に語学留学のチャンスを頂きました。貴重な経験なのでしっかりと勉強したいと思えます。将来は日本で就職をしたいと思っています。アニメーション制作会社に就職し、ゆくゆくはアニメ監督になりたいです。学校の授業も友達との学校生活もとても楽しいので、夢を叶えられるように頑張ります。

留学生授業レポート

世界トップレベルのミュージシャンから直伝

東京スクールオブミュージック専門学校 ギターテクニクコース(1年生)

李(イ)さん 韓国出身 千駄ヶ谷日本語教育研究所付属日本語学校出身



TSM副校長で世界的ギタリストのクリスジャガーセン氏がホスト役となり、世界トップミュージシャンを招いてトークライブセッションが行われる講義「クリスの部屋」に参加しました。「世界レベルに直に触れることで、テクニックから生方まで、世界で通用するミュージシャンとしての素養を身につけることができます。実際に来校したミュージシャンは、チャック・レイニー氏、マーカス・ミラー氏、ダリル・ジョーンズ氏、オマー・ハキム氏、ジェニー・バトワ氏、ジディイス・ヒル氏、ユライタ・タフ・イ、引田寿徳氏など、まさに世界トップクラスのミュージシャンです。演奏技術より何よりも人間性が一番大事で、時間を守るなど基本的なことをできることが重要で、また演奏するチャンスを選ばないこと、そのためには、いつチャンスが来てもいいように準備を整えておくことが必要というところなど、ミュージシャンとしての考え方や演奏上の具体的なことまで教えていただきました。非常に貴重な体験となりました。



- 【先生のプロフィール】
- チャック・レイニー / アレサ・フランクリン、ステイーラー・ダンのベーシスト。ビートルズのツアーベーシスト。
 - ジェニー・バトワ / マイク・ジャクソンのツアーギタリスト。
 - ジディイス・ヒル / マイケル・ジャクソンのコーラス。

和食ス・ペシヤリストによる特別講義

福岡キャリアナリ製菓調理専門学校 調理師コース(1年生)

黄(ファン)さん 台湾出身 日本経済大学出身



2012年12月11日、福岡キャリアナリの調理師科対象の特別講義が行われました。
講師は当校の教育顧問であり、和食のス・ペシヤリスト「原田充郎」先生です。
まず、先生のプロフィールを聞いています。先生は料理の道に進むきっかけが一つあります。有名な先生は値段が高い料理を出すことが多いと思いますが、先生はリーズナブルな値段で提供していらっしゃいます。それは多くの人に料理を食べさせて欲しいという気持ちからだと、私もそういう温かい気持ちを持った料理人になりたいと改めて思いました。
今回は「松花堂弁当」として刺身、焼き物、煮物、ご飯が入っている弁当の授業をしてもらいました。原田先生オリジナルの調理方法やソース作りはともにも勉強になりました。短い時間でしたが、とても分かりやすく丁寧に教えてもらい、将来自分のお店を持ちたい私の夢がさらにぐんぐん広がりました。

【原田先生プロフィール】
大阪の老舗割烹「大和屋」に弟子入り、和食を学ぶ。その後、料亭・ホテルで料理長を歴任。現在は京都にて「吉上」などのお店をシロテイスする。



授業中はみんな真剣!

先生に教えてもらった「松花堂弁当」

滋慶国際交流COMレポート

日本語教室 N1合格者発表

2012年、12月20日、日本語能力試験が実施されました。滋慶国際交流COM主催の日本語サポート授業を受講していた学生さんの中から、3名の学生さんが見事合格しました。合格者の喜びの声!!



東京アニメ声優専門学校 声優&ヴォーカル専攻(2年生)

アマサさん イギリス出身 オックスフォードブルクス大学出身



N1に合格したなんて、まだ信じられません。すごく嬉しいです!!
滋慶国際交流COM主催の日本語教室の授業がとても役に立ちました。教科書には書いていない細かなニュアンスも先生が丁寧に教えて下さったので大変勉強になりました。今後は、苦手を克服を重点的に日本語の勉強を続けていきたいと思っております。

東京スクールオブミュージック専門学校 コンサート企画制作コース(1年生)

李(イ)さん 韓国出身 ソウル女子大学出身



N1に合格できるとも嬉しいですが、家でひとりでは勉強するのはなかなか、日本語教室の仲間と一緒に勉強できたことが、N1合格に結びついていると思います。
まだまだ、語彙が足りませんので、就職活動に向けて今後も日本語の勉強を頑張っていきたいと思います。

東京アニメ声優専門学校 アニメ監督専攻(1年生)

叶(ヨウ)さん 中国出身 福州外国語学校



初めてのN1試験で合格できるとは思っていませんでした。びくびくしていました。1年間、生懸命日本語の勉強に取り組みできて良かったです。今後は就職活動に向けて、敬語などを使った会話を実践的に勉強していきたいと思っております。

滋慶COM短期プログラムに韓国啓明文化大学が参加

2月6日(水)から11日(月)の6日間、韓国の啓明文化大学の学生さんと先生、35名が滋慶学園COMグループの短期プログラムに参加されました。短期プログラムは東京デザインテクノロジーセンター専門学校(TECH.C)と、東京スクールオブミュージック専門学校渋谷(TSM渋谷)にて行いました。



産業デザイン科、19名の学生さんはTECH.Cで「Tシャツ制作」を担当。デザイン科の授業を受け、デザインに必要なコンセプトからクリエイティブカ、アイデア、プレゼンテーション力を学び作品制作しました。1週間という短い期間でしたが、学生さんは「好きなものを作るのではなく、お客さんが求めるものを作る」との大切さを体験することが出来たようです。引率の先生からは「短期プログラムを受けた学生が生き生きとした姿を見て感動した」とコメントを頂きました。

二期で14名の学生はTSM渋谷でヴォーカルのパフォーマンスの授業を受けました。初日、浴衣の着付けと日本舞踊の授業を受け、日本の伝統的な表現力を学びました。2日目からバンドアンサンブル、ゴスペルアンサンブル、DTMとヴォーカルトレーニングを勉強し、自分たちのオリジナル楽曲を完成させました。最終日はライブの本番を行い、学生の最高のパフォーマンスを披露しました。

短期プログラムの中で、韓国出身の在校生が講師のサポートと専門授業の翻訳を担当してくれました。在校生の活躍は韓国の先生と学生からとても好評でした。今回の短期プログラムは両校にとって、とても良い交流となりました。



浴衣の着付け体験



初めてのTシャツ制作

速報!! 企業プロジェクト

陸前高田市復興支援の商品開発コンテスト

名古屋コミュニケーションアート専門学校 調理師コース(1年生)

威力スウイリスさん 中国出身 外語学院トランスカデミー出身



東日本大震災の復興支援のひとつとして、愛知県名古屋市に全面的にバックアップしている若手県陸前高田市の名産品を使用した商品開発に、名古屋コミュニケーションアート専門学校調理師科の学生が取り組みました。1月22日に飲食店企業様に向けてプレゼンテーションが実施され、どのメニューも高い評価をいただきました。

今回初めて企業プロジェクトに参加した調理師科1年生のスウイリスさんは、「母国の味を楽しんでもらえるメニューをコンセプトにメニューを考えました。今回の指定食材である「しいたけ」と「きくらげ」は母国でもポピュラーな食べ物なので、うまく取り入れることができただけですが、私は作るのが大好きなので楽しかったです。商品の味だけでなく、おいしく見せる彩りなどの工夫も行うことができました。また、日本語でみなさんにプレゼンテーションすることや人前で話すことなどに慣れていき、これからはさらに頑張りたいと思っています」と話してくれました。



ウイリスさんが考案した「鳥肉焼飯」



何度も試作して改良を重ねました

スポーツ大会



12月7日(金)、TCAではスポーツ大会が開催されました。今回のスポーツ大会の目的は、クラスの団結力向上と、他専攻同士の交流です。スポーツが得意な学生も、不得意な学生も皆それぞれ楽しんでいました。普段は、あまり交流のない専攻の日本人学生とも、競技を通してお互いにたくさん刺激を受け、新たな仲間ができた人もたくさんいます。普段は机に向かって制作に夢中の学生も、汗を流して、大声を出して、たくさん笑った大盛り上がり、「日」となりました。

参加したCGクリエーター専攻の魏さんは「普段スポーツをする機会がありませんので、とても楽しかったです。また、学生だけでなく先生方も参加されていたので、いつもと違った先生の顔も見ることができました。学生対教員チームの試合はとても盛り上がり、良かったです。思った以上に、先生方が上手くてびっくりしました。また、今回私が参加したCGクリエーターチームはバスケットボールで優勝しました。来年も優勝を目指し、2連覇できるように頑張りたいと思います!!」と楽しそうに話してくれました。



活躍中の留学生レポート

日韓友好祈念、集中連載

「B(ブラボー)砲隊」

東京コミュニケーションアート専門学校 ブロマンガ家専攻卒業

李(イ)さん 韓国出身 東洋言語学院出身



映画化にもなり大ヒット中のテルマエロムエが掲載されている月刊コミックビームに、TCAのブロマンガ家専攻を卒業生李さんの最新作が集中連載として掲載!

私はマンガ家になることが夢でしたので、3年間じっくりマンガの勉強ができ、専攻以外の授業を受けられるWメジャーがあるTCAに入学を決めました。また、講師の先生方が全員プロであることも魅力のひとつでした。TCAで学んだ3年間は私にとってとても充実した時間でした。キャラクターをより引き立てる描き方やストーリー展開など詳しく学ぶことはもちろん、自分の弱点が明確になり、克服することができました。TCAで素晴らしい講師の先生方に出会えたことがデビューに繋がったと思っています。今後も、次々と新しい作品を世に出せるよう、頑張りたいと思います。



(C)角川書店/コミックビーム/李章源

卒業式 世界へ羽ばたく卒業生

総勢282名!! 20カ国の留学生が卒業

3月6日(水)東京校を皮切りに、滋慶学園COMグループの卒業式が全国で開催されました。282名、20カ国の留学生が本学園グループ校を巣立ち、大きく羽ばたいていきます。皆さんの今後のグローバルな活躍を期待しています。

東京コミュニケーションアート専門学校 ベットトリマー専攻(2年生)

部(トウ)さん(写真右) オーストラリア出身 東洋言語学院出身
周(シウ)さん(写真中央) 台湾出身 東洋言語学院出身
呉(コ)さん(写真左) 台湾出身 麗澤大学 日本特別聴講科出身

TCA(ECO)に入学して大きな夢が叶いました!

TCA(ECO)はペットトリマー専攻を卒業し、イオペット株式会社リマールとして見事内定を頂いた3名の留学生、イオペット株式会社は国内においてペット系最大手の企業であり、国内外にその店舗を構え、ペットショップ、トリミングホテル、動物病院事業を展開しています。

内定に至るまでは、面接試験2回と店舗実習を経て内定を勝ち取りました。犬のカット技術だけでなく、飼い主様対応も必要となるため、接客力や敬語などのビジネスマナーも求められましたが、日頃学校で学んだ成果が結果に出て良かったと、3人はとても喜んでいました。部さんは「飼い主様に信頼される「人前」のトリマーに早くなりたいです」と。呉さんは「カットスピードも早く、か飼い主様に満足していただける綺麗なカットができるように頑張りたいです」と、笑顔で話してくれました。また将来はトリミング技術を高め、母国でもその技術を広めたいと、野望を抱えています。3人の今後の活躍に期待しています。



滋慶学園COMグループ 「好き」を「仕事」にする学校

東京



東京コミュニケーションアート専門学校
〒134-0088 東京都江戸川区西葛西6-29-9
☎0120-532-303 E-mail: tcainfo@tca.ac.jp
<http://www.tca.ac.jp>



東京デザインテクノロジーセンター専門学校
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場2-11-10
☎0120-00-5586 E-mail: info@tech.ac.jp
<http://www.tech.ac.jp>



東京スクールオブミュージック専門学校
〒134-0088 東京都江戸川区西葛西3-14-8
☎0120-532-304 E-mail: tsminfo@tsm.ac.jp
<http://www.tsm.ac.jp>



東京スクールオブミュージック専門学校 渋谷
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-19-21
☎0120-532-308 E-mail: info@shibuya.ac.jp
<http://www.shibuya.ac.jp>



東京ダンス&アクターズ専門学校
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-24-6
☎0120-532-307 E-mail: info@da-tokyo.ac.jp
<http://www.da-tokyo.ac.jp>



東京フィルムセンター映画・俳優専門学校
〒134-0088 東京都江戸川区西葛西3-14-9
☎0120-233-557 E-mail: info@movie.ac.jp
<http://www.movie.ac.jp>



東京アニメ・声優専門学校
〒134-0088 東京都江戸川区西葛西3-14-9
☎0120-233-601 E-mail: info@anime.ac.jp
<http://www.anime.ac.jp>



福岡



福岡デザインコミュニケーション専門学校
〒812-0032 福岡県福岡市博多区石城町21-2
☎0120-717-262 E-mail: fcainfo@fca.ac.jp
<http://www.fca.ac.jp>



福岡スクールオブミュージック専門学校
〒812-0032 福岡県福岡市博多区石城町21-2
☎0120-717-263 E-mail: fsminfo@fsm.ac.jp
<http://www.fsm.ac.jp>



福岡医健専門学校
〒812-0032 福岡県福岡市博多区石城町7-30
☎0120-717-261 E-mail: info@iken.ac.jp
<http://www.iken.ac.jp>



福岡ECOコミュニケーション専門学校
〒812-0033 福岡県福岡市博多区大博町4-16
☎0120-717-264 E-mail: fecinfo@eco.ac.jp
<http://www.eco.ac.jp>



福岡キャリアナリー製菓調理専門学校
〒812-0032 福岡県福岡市博多区石城町20-9
☎0120-717-267 E-mail: info@f-culinary.ac.jp
<http://www.f-culinary.ac.jp>



大阪



大阪コミュニケーションアート専門学校
〒550-0014 大阪市西区北堀江2-9-14
☎0120-121-807 E-mail: ocainfo@oca.ac.jp
<http://www.oca.ac.jp>



大阪スクールオブミュージック専門学校
〒550-0013 大阪市西区新町1-18-22
☎0120-121-806 E-mail: osminfo@osm.ac.jp
<http://www.osm.ac.jp>



大阪ダンス&アクターズ専門学校
〒550-0013 大阪市西区新町1-18-10
☎0120-121-604 E-mail: info@da-osaka.ac.jp
<http://www.da-osaka.ac.jp>



キャリアナリー製菓調理 大阪校
〒553-0006 大阪市福島区吉野2-13-10
☎0120-551-801 E-mail: info@culinary.jp
<http://www.culinary.jp/>



京都医健専門学校
〒604-8203 京都市中京区三条通室町西入衣棚町51-2
☎0120-448-808 E-mail: info@kyoto-iken.ac.jp
<http://www.kyoto-iken.ac.jp>



大阪アニメーションスクール専門学校
〒530-0042 大阪市北区天満橋1-5-9
☎0120-230-840 E-mail: info@oas.ac.jp
<http://www.oasweb.tv/top.html>



名古屋



名古屋コミュニケーションアート専門学校
〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄3-20-4
☎0120-532-758 E-mail: ncainfo@nca.ac.jp
<http://www.nca.ac.jp>



仙台



仙台コミュニケーションアート専門学校
〒984-0051 宮城県仙台市若林区新寺2-1-11
☎0120-482-132 E-mail: info@sendai-com.ac.jp
<http://www.sendai-com.ac.jp>



仙台医健専門学校
〒984-0051 宮城県仙台市若林区新寺2-1-11
☎0120-282-134 E-mail: info@sendai-iken.ac.jp
<http://www.sendai-iken.ac.jp>



北海道



札幌スクールオブミュージック専門学校
〒060-0001 札幌市中央区北1条西8-2-75
☎0120-27-6200 E-mail: info@ssm.ac.jp
<http://www.ssm.ac.jp>



札幌放送芸術専門学校
〒060-0001 札幌市中央区北1条西8-2-75
☎0120-27-6200 E-mail: info@sba.ac.jp
<http://www.sba.ac.jp>



滋慶学園COMグループは、留学生を入学前から卒業後までトータルにサポートします。

滋慶国際交流COMとは？

開校以来、世界41カ国、4,379名の留学生が卒業し、日本のみならず、世界各国で活躍しています。そこで滋慶学園COMグループでは、留学生のための総合窓口「滋慶国際交流COM」を設置しています。出願、ビザ、学費、奨学金、就職などの入学にあたっての質問や、住まいをはじめとする日本での生活の相談まで、慣れない日本での学びや生活の不安を解消するため、専任スタッフが入学から卒業までトータルにサポートします。

滋慶国際交流COM

Address 東京都江戸川区西葛西3-14-8 TSM2階 Tel 03-5679-5644 Fax 03-3688-6297

E-mail jcic@jikeicom.jp HP <http://www.jikei.asia/com/jp/>

Facebook <http://www.facebook.com/jikeicom87> 新浪微博 <http://www.weibo.com/jikeijapan>